

## 2days race in 木島平村 2018

シニア テクニカルガイド(Ver.180109) :

大会特別規則を下記のように定める

### 第1章総則

1. 競技規則総則 この大会は特定上位選手を除いた選手に本格的なステージレース参加機会を提供すること、総合優勝選手を決めることを目的とする。本大会は UCI, J C F 競技規則およびペナルティースケールに従う。特別条項については大会特別規則を定める。追加及び修正情報を本HP上で発表することがある。

2. 競技規則の熟知 この大会に参加する選手、チーム役員は上記規則および、競技車両運行の慣例を熟知していることを前提としている。したがって、UCI,JCF 競技規則、本大会特別規則を知らないことはペナルティースケール適用除外の理由とならない。

3. 本大会は全日本選手権ロードレース出場資格付与を以下で申請している。

エリート	個人総合	10位以内	各ステージ1位
U-23	個人総合	10位以内	各ステージ3位以内
ジュニア	個人総合	20位以内	各ステージ6位以内

### 第2章競技前まで

#### 3. 参加資格

本大会参加資格を下記とする。

シニア :

JBCF 成績 ; UCI コンチネンタル登録チーム以外のチーム・選手

ただし、同時期開催の国際レースに出場していない選手

(例 : チームは TOJ に参加したが、出場できなかった予備登録以下の選手 または TOJ に参加できなかった国内コンチネンタル登録チーム)

2017 JBCF 選手振り分け E2 以上の選手を想定している。

2017 JBCF 選手振り分け E3 の選手には水準が高すぎると想定。

学連成績 : 2017 学生個人ロードレース 3 位以内を除く、学連登録選手  
学生ロードシリーズポイントを 1P 以上獲得していることが望ましい

海外選手 : 2018 年 3 月 10 日付け UCI ポイント 4 点未満の選手

未登録 : 主催者が認めた JCRC S, A クラスのシニア選手  
2017 年の成績一覧を別途送付すること。

女子選手 : J C F 登録シニア選手で主催者の認めたもの

ジュニア : J C F 登録ジュニア選手で主催者に確認し主催者の認めたもの

(2001年/2000年生まれの選手、最大ギヤ7.93mを条件とします)

本大会においては、学連登録選手であっても、2000年生まれの選手はジュニア選手として最大ギヤ比の制限をかけます。

上記で構成する選手最低4名または最大5名、選手以外のスタッフ1名から3名のチーム。

今年度コース使用許可条件で共通機材四輪の走行が認められませんでした。

チームによる機材交換用ダブルピット2か所をコース上に設定します。

1 機材交換ピットに1名のチームスタッフの配置と補給を合わせて3名のチームスタッフを推奨します。

2 か所のダブルピット位置は雪解け後コース管理者と協議して告知する予定である。

予備車輪を運搬する共通機材モト2台を計画している。

総参加チーム数を35とする。

注意書き：走行技術が未熟、集団走行が不慣れな選手には危険です。

主催者はJBCFクラスターE1程度の技術実力を想定しています。

競技経験が浅い選手(2017学生ロードシリーズポイントを持たない選手など)は危険防止のため参加を断念することを推奨します。

締め切り後ホームページに申し込み選手名簿を公表する。他チームの参加選手参加資格について疑義がある場合、2018年4月25日までにセクレタリーあてメール/書面で提出すること。(JCF競技規則39条1項修正)

レースセクレタリー 小川 知大 e-mail : [info.kijimadaira2days@gmail.com](mailto:info.kijimadaira2days@gmail.com)

### 3-1 ジョイントチーム

当該連盟登録メンバーが5名に達していないとき、以下を認める

- 1) よそのチームからメンバーをレンタルして選手5名+スタッフ1~3名のジョイントチームを作る。チームジャージは統一すること。パンツに付いてはレンタルした選手の元所属チームパンツの着用を認める。レンタルした選手はレンタル先チームマネージャーの指揮に従う。
- 2) 本大会は投野健自転車競技連盟国体予選として長野県自転車競技連盟が指定している。長野県登録の選手は国体予選参加者として国体選手を先行する。長野県国体予選に出場する選手所属のチームが参加する場合はチームで申し込んで構わない。また、ジョイントチームを結成して参加することもできる。

### 3-2 参加費、参加申込期限

参加費、参加申し込み期限、手続きを下記の様に確認する。参加費用は選手数に関係しない。

申込期限 2018年4月18日必着

選手名簿送付先

レースセクレタリー 小川 知大 e-mail : [info@kijimadaira2days@gmail.com](mailto:info@kijimadaira2days@gmail.com)

セクレタリーあて E-mail にエクセル表添付して名簿を送付下さい。

この日付以降はレイトフィー5,000円/チームが加算されます。

正登録選手4-5名予備登録選手2名

正登録役員1-3名予備登録役員1名を登録できる。

ステージ1 Aチーム内での出走順番を指定することが出来る。

チームジャージデジカメ画像（正面、右側）添付送付ください。

未登録選手については2日間有効の臨時選手登録を行います。事前のJCF登録を推奨します。  
選手名簿様式他をホームページからダウンロード後必要事項を入力下さい。

2日目午前の残念レースでは、チームスタッフ、補欠選手の参加を認めます。（1人2000円）

テクニカルガイド ジュニア御参照下さい。

残念レースはジュニア選手との混走で長野県インターハイ予選として開催されます。

4月18日から25日まで参加資格審査のため名簿をホームページで公開します。

他チーム参加資格について疑義がある場合、セクレタリー宛にメールください。

4月25日までに参加資格審査終了後、参加受付通知を4月27日までに送付する。

5月10日までに下記に現金書留で送付すること、または、指定口座に入金すること。

参加費用の中に宿泊費用は含まれていない。

シニアJCF登録選手のためのチーム 40,000円/チーム

JCF未登録選手1名につき4,000円の追加料金

計算例：JCF登録3名+未登録1名で参加申し込みする場合

40,000円/チーム + 4,000円/未登録 = 44,000円/チーム

主催者側で2日間有効の臨時登録を行います。

予めJCF選手登録をしてもらうことを強く推奨します

現金申込先 〒399-8501 北安曇郡松川村 5724-248 小林秀一まで

振込先 八十二銀行大町支店(店番号485) 口座番号689 198

口座名 2days race in 木祖村実行委員会 事務局

申込締め切り後の選手役員の変更は5月15日までに連絡してください。当日の変更は

選手、役員にかかわらず1名の変更につき付き3,000円とする。

実行委員会は申込締め切り後の選手役員の変更を拒否する権利を保持していることを確認する。

予備選手登録、予備役員登録制度を十分に活用することをレースディレクターは希望する。

### 3-3 参加日程

テクニカルガイド発表	2018年2月10日
主催者指定チーム発表	2月10日
主催者指定チーム参加申し込み期限	3月20日
一般参加チーム参加申し込み期限	4月18日
参加名簿公開、参加資格審査開始	4月18日
参加資格各審査終了	4月25日
参加受付通知	4月27日
現金送付・入金	5月10日

### 3-4 参加申し込み順位

参加チーム総数を35とする。参加申し込みチームが35を超過したときには下記の順番で参加順位を決めて参加チーム総数を35とする場合がある。

同一母体から3番目以降のチームが参加する場合、下記1)～3)の基準で参加チームが決定した後、35に満たない場合にだけ、2)、3)の基準で参加できる。

同一母体から3番目以降のチームを参加させたい場合、通常の参加申し込みをしてください。参加申し込み名簿にその旨記載し、35チームになるまで参加申し込みを受け付けます。2012から申し込みの際、同一母体からの参加チーム順番の記載をお願いしています。

同一母体から参加するチームは別のチームと明らかに区別が付くジャージを着用下さい。区別が困難と判断したチームジャージには判別のためガムテープなどで判別のための操作を加える可能性があります。

#### 1) 主催者指定チーム 4チーム

新城 銀二 選手 (前年度本大会個人総合1位) を含むチーム

小川 恵佑 選手 (前年度本大会個人総合2位) を含むチーム

大東 泰弘 選手 (前年度本大会個人総合3位) を含むチーム

高橋 伸成 選手 (前年度本大会O-40賞) を含むチーム

#### 2) セクレタリーが受信した参加申込資料が揃った日付の早い順

### 3-5 宿泊

2days race in 木島平村2018は木島平村のご協力で開催にこぎつけることが出来ました。

2日間のステージレースでは、体力の回復が成績に大きく影響するとレースディレクターは信じております

安心して睡眠するために、観光協会経由で木島平村内に宿を求めることを強く勧めます。競技会場から車で10分ほどのところに宿があります。

宿泊可能な宿のリストは 別添付の通り

公開する情報は 料金、収容人数、部屋数、タオルセット、自転車置き場の有無、駐車台数、大浴場有無、会場までの所要時間、コメント



[http://www.kanko-kijimadaira.com/modules/pico/index.php?content\\_id=2](http://www.kanko-kijimadaira.com/modules/pico/index.php?content_id=2)

#### 4. 競技日程

- 18.05.19 09:00-10:00 シニアライセンスコントロール、ゼッケン配布  
(管理棟前広場にて)
- 10:00-10:30 シニアチームマネージャーミーティング  
(管理棟前広場にて)
- 10:30- 個人タイムトライアル 地元の部  
(地元の部出走人数が多い場合 ステージ1A出走時間に変更が生じる場合がある)
- 11:01- シニアステージ 1a 第一走者出走  
個人タイムトライアル 6.8km 1分間隔 175名の場合  
3順目終了後4順目開始までに10分間の休憩を入れる。
- 14:05 最終選手出走
- 14:20 最終選手ゴール 直ちに表彰式
- 14:30-14:45 シニアステージ 1b 出走サイン  
(参加チーム数によりサイン、出走時刻に修整が生じる場合がある。)
- 15:00- シニアロードレース 81, 6km (3.4km x 24周 ローリング含む)
- 17:10 先頭ゴール直ちに表彰式
- 18:51 日没予定時刻
- 18.05.20 07:30-08:00 ジュニア+残念、ゼッケン配布、出走サイン
- 08:30- ジュニア+残念個人ロードレース 71.4km (3.4km x 21周ローリング含む)
- 11:00-11:15 シニアステージ 2 出走サイン
- 11:30- シニアステージ 2  
個人ロードレース 129.2km (3.4km x 38周 ローリング含む)
- 15:15 先頭ゴール

#### 5. 表彰、成績

ステージ順位、個人総合スプリント賞、個人総合時間賞、U-23賞、O-40賞とする。

##### 5-1 リーダージャージ

個人総合時間

個人総合時間順位1位の選手は主催者が用意するリーダージャージを着用する義務を負う。

リーダージャージは黄色単色とする。

総合スプリント賞

スプリント賞総合順位1位の選手は主催者が用意するリーダージャージを着用する義務を負う。  
リーダージャージは緑色単色とする。

#### U-23賞

1996年以降に生まれた選手のなかで最も総合成績がよかった選手は主催者が用意する白色ジャージを着用する義務を負う。**参加選手の年齢構成により基準年を変更する場合がある。**

#### O-40賞

1978年以前生まれた選手のなかで最も総合成績がよかった選手は主催者が用意する桃色ジャージを着用する義務を負う。

リーダージャージ着用順位は個人総合時間、総合スプリント、年齢別ジャージの順とする。

チームジャージが各リーダージャージと類似している場合、チーム第2ジャージを着用するまたは、アームバンドを着用して、リーダージャージと判別が付くこと。

リーダージャージ胸部高さ22cmでチーム名/スポンサー名を表示できる。この表示の布はチームで用意すること。

表示用チーム名入り布

テクニカルガイドにある寸法で 許される範囲の表示内容で2枚用意下さい。

1枚目はリーダージャージに付けて出走します。

2枚目は表彰式で着用する新しいリーダージャージに付けておきます。

### 5-2 成績

#### 5-2-1 個人タイムトライアル

個人完走時間にペナルティータイムを加えた時間の優劣で決定する。

完走時間は1/100まで計測する

スタートでフライングを犯した選手に対して、フライングした時間を秒単位に切り上げた時間の2倍をペナルティーとしてゴール通過時刻に加える。

ゴールレーン内でゴールラインを通過しなかった選手は、完走した最下位と同タイムを与える。

#### 5-2-2 集団スタートステージ

フィニッシュラインにおける成績とする。

1秒単位で区間時間を与える。

同一集団とみなされた選手に対しては同一タイムを与える。

#### 5-2-3 個人総合成績

個人総合成績は各ステージタイムからボーナスタイム、ペナルティータイムを加減したタイムの小さい順とする。

同タイムの場合、個人タイムトライアルにおいて記録した1/100秒単位を考慮する。

#### 5-2-4 ボーナスタイム

ステージ1b 81.6km (3.4km x 24周 ローリング含む)

21周回(71.4km)先頭通過上位3選手に対してボーナスタイム(3, 2, 1秒)を与える。

ゴール通過順位上位3選手に対してボーナスタイム(6, 4, 2秒)を与える

ステージ2 129.2km (3.4km x 38周 ローリング含む)

26周回(88.4km)、30周回(102.2km)、34周回(115.6km)通過時先頭通過上位3選手に対してボーナスタイム(3, 2, 1秒)を与える。

ゴール通過順上位3選手に対してボーナスタイム(10, 6, 4秒)を与える

### 5-3 スプリント総合成績

スプリント成績はステージ1A成績順及び1B,2ステージスプリントライン通過順に応じに下記の得点を与える。合計得点順に総合成績を与える。

同点の場合は勝ち数による。勝ち数が同じ場合はより最後に得点した選手を優位とする。

ステージ1a 2, 1点

ステージ1b 9周回 30.6km 12周回 40.8km 15周回 51.0km 18周回 61.2km 通過時  
3. 2. 1点

ステージ2 9周回 30.6km 12周回 40.8km 15周回 51.0km 18周回 61.2km  
21周回 71.4km 通過時

3. 2. 1点

## 6. 本部、ライセンスコントロール、ゼッケン配布、マネージャーミーティング

### 6-1 本部は以下の通り開設する。

180518 まで セクレタリー：小川 知大 e-mail : [entry@kisomura2days.com](mailto:entry@kisomura2days.com)

180519 08:00-18:00 ゼネラルセクレタリー小林 090-1867-6706  
木島平村インラインスキーサマーノルディックコース管理棟

180520 08:00-18:00 ゼネラルセクレタリー小林 090-1867-6706  
木島平村インラインスキーサマーノルディックコース管理棟

### 6-2 シニア来場

#### 6-2-1 一般情報

駐車 ニコニコファーム入口の広い駐車場は原則望郷ニコニコファームのお客様のための駐車場です。

選手チームはニコニコファーム入口の広い駐車場内の指定の範囲内に駐車できる。

管理棟側駐車場は駐車場内の指定の範囲内に駐車できる。

範囲は後日 HP にて公表する

コース管理者からの指示を守ることができなかったチームにはペナルティーがあります。

参加申し込みチーム数に応じて チームで駐車できる台数を指定します

ニコニコファーム入口の広い駐車場と管理棟側駐車場に駐車できなかったチームは必要な資材を車から降ろした後、約 500m 離れたやまびこの丘ガーデンハウス駐車場指定の場所に駐車ください。(後日地図掲載します)

#### 6-2-2 ライセンスコントロール

ライセンス又は J C F 登録申請書控えの持参

(JCF未登録の選手は身分年齢を証明するもの)

チームジャージ

(同一母体から参加する複数のチームジャージが類似しているとコミッセルが判断した場合、ガムテープなどで修整を加えることがある。)

テクニカルガイド3-2参加費にあるように 参加費用に差額を設けた。

JCF登録選手は**2018 JCF選手登録証又は登録申請書選手控え**を持参すること。

JCF登録が証明された選手にはライセンス忘れとして3,000円を請求します。

主催者には選手が登録している車連に登録確認を行う権利がある事を確認します。

JCF未登録選手はその場でJCF臨時登録用紙に記入していただきます。

JCF未登録選手は身分を証明するものを持参下さい。顔写真入りが好ましいです。

### 6-2-3 マネージャーミーティング

出席 チームマネージャー1名以上

議題 点呼

予備登録選手との入れ替え(ライセンスコントロールで申告してください。)

特別規則説明(補給、機材補給、賞典)

レース手順説明

テクニカルガイド(修正がある場合)

各チーム、審判団は最新のテクニカルガイドをホームページから印刷持参下さい。

マネージャーミーティングでテクニカルガイド等公開済み資料は配布しません。

### 6-3 コースに関する情報

別掲載コース平面図、コースプロフィール、受付、トイレ、個人タイムトライアルスタートゴール地点配置図、ロードレースコース図、駐車場配置図、参照のこと。

7 レース開始まで

7-1 ステージ1a: 個人タイムトライアル

#### 7-1-1 一般事項

コース使用許可条件で四輪の走行は認められていない。

選手1名おきに1台のモトが追走し安全を確保する計画でいる。

走行中機材故障にあった選手は以下から選択できる。

- ・機材ピットで機材補給を受けて競技を継続する。
- ・競技を中止することをモト審判に申告して、最終選手の出発後、再出走し計測を受ける

#### 7-1-2 コース

出走場所付近の配置は別紙のとおりとする。

出走場所付近では走行車線が3本にコーンで仕分けされている。

レーン1 出走用 選手待機場所及び発射台付き



レーン 2 3.4 km 走行用

レーン 3 6.8km ゴール

計測ラインは 6.8 km 地点のレーン 3 にしか設置しない。6.8km のレーン以外を通過した選手は通過を認めない。

そのタイムは最下位の選手と同じタイムとする。

コース幅員は 4.5 m である。

並走が可能な幅員であるが、レースディレクターは JCF 競技規則 87 条 12~14 項を再度告知する

### 7-1-3 出走確認

個人タイムトライアルステージでは出走サインは行わない。

出走時に機材、服装、ヘルメット検査を行う。

公認ヘルメット以外の製品、ダメージを受けたヘルメットは使用不可。

使用機材について JCF 競技規則 16 条検査を行う場合がある。

<http://jcf.or.jp/files/downloads/2011/04/TECHNICAL-REGULATIONS-FOR-BICYCLES-ej.pdf>

ジュニア選手の最大ギヤ比を検査する場合がある。(7.93m)

フレームプレートについて

フレームプレートを固定する紐、カッターナイフ、ガムテープほかものについてはチーム準備とする。

ビデオはコース右側から撮影するので、数字が撮影可能なプレート取り付けとする。

フレームプレートの切断はペナルティーの対象とする。

フレームプレート固定のためのガムテープほかを持参下さい。

ゼッケン固定に両面着テープは使用しないこと。保管維持管理に多大な労力が必要になります。両面着テープの使用はペナルティーの対象とします (1枚につき3000円とします)

### 7-1-4-2 ステージ 1a : 個人タイムトライアル

スタート地点に出走時刻の 5 分前までに所在すること

### 7-1-5 個人タイムトライアルステージにおける脚きり

集団スタート区間での競走の安全のために、個人タイムトライアルステージにおいて脚きりを行う。

1 位の選手に対して 120% 程度以上遅れた選手は、失格とする場合がある。

失格となった選手は、日曜日には残念レースに参加申し込みして出場することが出来る。

### 7-2 ステージ 1b、ステージ 2 : 集団スタートステージ

#### 7-2-1 出走サイン

出走時刻の 30 分前から 15 分前までチームし全員そろって

	競技開始		出走サイン		サイン場所
180519	15:00-	シニアロードレース	14:30-14:45		ゴール地点

(参加チーム数によりサイン、出走時刻を早める場合がある。場内放送に注意されたい)

180520	08:30-	ジュニアロードレース	07:30-08:15		ゴール地点
--------	--------	------------	-------------	--	-------

集団スタートステージの出走サインはチーム単位で、本部テント前机で4箇所設置する。

スタート前選手のサインはチーム毎まとまってサインしていただきます。

選手は出走できる態勢でサインを行うこと

出走サイン時にヘルメット検査を行う。

公認ヘルメット以外の製品、ダメージを受けたヘルメット使用を審判団は禁止する権利がある。

使用機材についてJCF競技規則16条検査を行う場合がある。

## 7-2-2 集合

スタートライン後方の集合エリアに競技開始10分前までに集合すること

ステージ1bでは個人総合成績上位10名、アナウンサー指定選手を呼び上げる。

その後方はステージ1aタイム30秒ごと下記のグループに分けた出走位置とする。

公式発表が遅れた場合、自主申告を認める。

成績による位置確認を行う場合がある、不正が確認された場合、最後尾に移動すること。

1)9分30秒00より良いタイムの選手

2)9分30秒01から以降30秒刻みで出走位置を指定する。

複数のグループごとにローリングスタートをおこなう。

ステージ2では個人総合成績上位10名、アナウンサー指定選手を呼び上げる。

## 8 競技

### 8-1 ステージ1a：個人タイムトライアル

#### 8-1-1 スタート

スタータのカウントダウンによる1分間隔スタートとする。

手動計時とする。

第三順と第四順の選手の間に10分間の休憩を入れる。

#### 8-1-2 競技

JCF競技個人タイムトライアル競技規則に従う。

暫定成績上位3選手を随時発表する。

対象上位3選手はチャンピオンチェアで表彰式をお待ちください。

最終選手ゴール後直ちにチャンピオンチェアから表彰式を行う。

### 8-2 ステージ1b、ステージ2：集団出走ステージ

#### 8-2-1 スタート

スタート後のローリング区間はマネージャーミーティングで発表する。

正式競技開始はコミッサー2の緑旗によって指示される。

#### 8-2-2 食料補給（固定点、集団後方）

シニア

ステージ1Bで19周回終了手前300から500m直線区間(走行距離64.0km)、  
20周回終了手前300から500m直線区間(走行距離67.5km)  
で走路左側より認める。(コース図参照)

ステージ2で22周回終了手前300から500m直線区間(走行距離74.3km)、  
23周回終了手前300から500m直線区間(走行距離77.7km)  
で走路左側より認める。

補給するスタッフは道路にでないこと。

補給を受けたい選手が走路左側に進路を変更すること。

ラインのロードレースの補給を考慮して、今回補給は各ステージ2回だけとする。

上記以外の補給は規則外の補給(ペナルティースケール24項20SF=2,800円)に相当する。

補給区間わきの芝生について、チームテントを立てることができる範囲を雪解け後管理者と協議のうえ告知する。

先頭集団、大集団の後方にボトルを携行するモトを走行させる計画でいる。

競技開始50kmからゴール手前20kmの区間では、選手はボトルを取ることができる。気象条件等を勘案して、ボトルを受け取ることのできる区間について、修正コミニケ放送などで告知する。

モトが携行するボトルは主催者で用意した真水の入ったものである。

#### 8-2-3 ゴミ捨てについて

選手はゴール手前(300~500m)のチームスタッフに対して ゴミを投げ渡すこと。

ゴミはチームで回収して持ち帰ってください。

ゴール手前以外の区間でゴミを投棄した場合 1回につき 3000円のペナルティとする。

このペナルティに関しては 抗議を認めない。

#### 8-2-4 機材補給

共通機材モトで機材補給を行う予定でいる。

先頭集団のために共通機材モト2が機材支援する。

大集団に対して共通機材モト1が機材支援する。

機材補給を受ける選手は走路左端に停車すること。

指定ダブルピット2か所左側のみでチームスタッフからの機材補給を受けることができる。

ニュートラル周回は認めない。

共通機材はシマノ11速の車輪のみを供給する

#### 8-2-5 失格

先頭から遅れ、周回遅れと見込まれた選手は周回遅れとしてフィニッシュジャッジの判断で排除する。

失格は赤旗によって指示される。

周回遅れ(概ね先頭から4分)になって直ちに競技を停止した周回遅れ選手は記録される。

コミッセルの指示を無視して走行を続けた選手は記録されない。

大量の周回遅れ失格選手が発生した場合、チーフコミッセルは特定周回以降の失格選手に対してペナルティータイムを与えた上で翌日の競走に参加を認めることができる。

この処理は翌朝公表のコミュニケで発表される。

ジュニア+残念レース（コンソレーション）

1日目に失格となったシニア選手とジュニア選手とで2日目08:30からジュニアのレースを行う。

1日目に失格となったシニア選手の残念レース参加費は無料とする。

日曜日7:30から8:00までの間にエントリー、支払いを受け付ける。

#### 8-2-6 走路上での失格、棄権

走路上で機材故障、事故、落車等により競技を中止する選手、周回遅れ失格を通知された選手はコースを外れること。

#### 8-2-7 その他注意

・低体温症：2011年大会において低体温症を発症した選手がいた。

標高の高い会場で雨にぬれた競走の経験が無いと思われる。

選手は冷たい雨の中でも練習をして、どのような服装をすればよいか研究すること。

### 9. 表彰、賞品配布

表彰担当が身柄拘束します。表彰式までチャンピオンチェアーでお待ち下さい。

ステージ1A：最終選手ゴール後直ちに行います。

上位3名のみ直ちに表彰です。

1位にはリーダージャージを渡します。

上位3名の表彰 小花束+リーダージャージ+シャンパン1

ステージ1b：先頭選手ゴール後直ちに行います。

ステージ上位3名のみ直ちに表彰です。

U-23賞 リーダージャージ白

O-40賞 リーダージャージ桃

スプリント総合賞1位 リーダージャージ+シャンパン

総合1位の表彰 リーダージャージ+シャンパン

ステージ2：先頭選手ゴール後直ちに行います。

ステージ上位3名のみ直ちに表彰です。

小花束+シャンパン1

U-23賞 リーダージャージ白

O-40賞 リーダージャージ桃

スプリント総合賞1-3位

中花束+リーダージャージ+シャンパン3

総合1-3位の表彰 大花束+リーダージャージ+シャンパン3

ゴール上位3名を対象にゴール直後本部前付近で表彰式を行う。

この式典に欠席した選手はペナルティの対象となる。

賞金金額は別紙賞金表による。(参加人数により賞金がない場合もある)

賞金、賞品は1日目2日目とも競技終了1時間後までに本部に受け取りに来ること  
但し総合成績のみ後日対象選手所属監督指定口座に5月末前後までに振り込まれる。  
コミュニケはゴール地点付近現場本部付近に張り出す。

#### 10. ゼッケン回収

チームマネージャーはゼッケン、フレームプレートを全競技終了後60分以内にチーム毎受領したケースに全て収めて返還すること。選手個別での返還は受け付けない。

両面テープをゼッケンに使用したチームはその場で罰金を支払うこと。

ゼッケン、フレームプレート、TTプレートを返還しない場合ペナルティの対象とします。  
共通機材と交換した車輪等を競技終了後本部付近にて返還します。

#### 11. 供託金

本大会において供託金は5,000円とする。

本大会において1SFを120円(≒115.49円 1月03日)として計算する。

#### 12 医療施設

日本赤十字社 飯山日赤病院 〒389-2295 長野県飯山市大字飯山226-1

コースから20分

0264-22-2703

<http://www.iiyama.jrc.or.jp/>

当日救急医は会場において応急処置のみを行う。

#### 13.コミッセールパネル

レースディレクター／チーフコミッセール 藤森 信行

コミッセール2

コミッセール3

フィニッシュジャッジ

ゼネラルセクレタリー 小林 秀一

セクレタリー 小川 知大

以下決定次第順次発表

14.このテクニカルガイドの対する追加情報、質問は下記のホームページ参照のこと

2days race in 木島平村 公式ホームページ [kisomura2days.com](http://kisomura2days.com)

#### 15.修正経歴